

地域包括支援センター通信

～挽きたてのコーヒーを通して人とつながり、会話を楽しむ～

船戸の街中から少し道なりに奥へ進むと、家々の間にひっそりと緑色のテント『喫茶かおり』が現れます。今回の包括通信では、知る人ぞ知る隠れ家的な喫茶店『喫茶かおり』をご紹介します。

雨上がりの蒸し暑さの残る屋下がり、喫茶かおりを経営している栗岡薫さん（92歳）が店の中から涼しげな笑顔で出迎えてくれました。



【喫茶店を始めたのは……】

「昔は隣に支所があり、そこの職員さんにおいしいコーヒーの立て方を教わったのがきっかけ。もう、お店をはじめて40年近くになるでしょうか。はじめた頃、お店の隣には小さな雑貨店がありました。職員さんが休憩時間によくコーヒーを楽しみに来てましたよ。」と栗岡さん。

コーヒー豆はこだわりの【南米産】を使用し、メニューはコーヒー1杯350円。開店当時からコーヒーのみを提供するスタイルは今も変わりません。



【お元気の秘訣は……】

♥毎日のお客さんとの会話を楽しむこと。

「お店に来てくれるお客さんの顔を見て、ゆっくりお話しをすることでしょうね。」お客さんの年齢層は70歳代から90歳代。男性客が多く、ほとんどの方が午前中に来店され「みなさん座られるお席まで決まってるんですよ」お客さんはコーヒーを片手に新聞を読んだり、会話を楽しんだり楽しみ方は人それぞれ、コーヒー1杯を注文し、ひとり30分程度滞在します。

♥毎日同じリズムで生活を続けること。

お店は牛乳屋さんの配達と同時に始まります。「だいたい朝7時頃から開けているでしょうかね。ほとんどのお客さんが午前中に来店され、お店は午後5時で閉店します。日曜日と病院受診日以外はお店を開けます。

♥定期的な病院受診で身体のメンテナンスを怠らないこと。

「元気でいないとご近所の方にご迷惑になるから……」と。「でも、私もこの年ですから病院受診の時には『お休みします』とホワイトボードに書いて掲示しています。病院受診日と日曜日以外は毎日やってます。」

【これからもお客さんと一緒に……】

コロナの影響からか、来客者が以前よりも少なくなっていますが、変わらず来てくださるお客さんのため、そして、自分自身のために毎日お店を開け、おいしいコーヒーを用意して待っている栗岡さん。お客さんとの交流（お話）が健康の源になっているのだと感じました。



大募集

引き続き、取材を続けていきたいと思います。
自分のためにしていること（運動、散歩、栄養、趣味の活動など）をぜひ、地域包括支援センターまでご連絡ください。自選、他選は問いません♪



7月15日、川井 壽さん（一の瀬）が2020年度中部夏季グラウンド・ゴルフ交歓大会 個人男性の部において、合計打数49打で見事優勝されました。17日に町長室へ表敬訪問された町体育会グラウンド・ゴルフ部の小川さんによると「川井さんは大会中ずっと安定していた。」とのことでした。
優勝された川井さんは、「小川部長の下で練習を重ね、優勝することができてうれしかったです。」と話していました。



川井さん見事な優勝



「ウイルスに感染しました」 偽警告に注意！

県内で、詐欺被害が発生していますので、
職場・ご家族などで注意しあいましょう

インターネットのウェブサイト閲覧中、「ウイルスに感染しました」などとニセの警告画面が現われ、ウイルスチェックなどを理由として、代金の支払いを求める手口があります。

具体的事例

- ① ウェブサイト閲覧中、突然「警告 あなたのコンピュータでウイルスが検出されました。」などと表示された。
- ② 警告音が鳴ったり、変な画面が湧いて出たりと不安を覚え、画面に表示された連絡先への電話を促す。
- ③ 連絡先に電話すると、ウイルス駆除を理由に遠隔操作ソフトのインストールを勧められる。
- ④ ソフトのインストール後、実際に遠隔操作をされ、ウイルス駆除をしているかのような作業画面を見せられた後、ソフトの購入代・ウイルス駆除代金などの費用として代金を請求される。



対策

不安を感じても、電話をしない

電話をかけてしまった場合

⇒その電話番号の着信拒否をする。また、今後不審な電話に注意する。

（警察が貸し出ししている「詐欺撃退電話（見張り君）」の利用を検討）

電話の指示どおりに遠隔操作ソフトをインストールした場合

⇒アンインストールする。または、販売店など業者に点検を依頼する。

（各種アカウントのパスワード変更、クレジットカードの利用停止を検討）

